

令和7年度指定管理者業務モニタリング評価表

施設名	豊橋市三の丸会館
所在地	豊橋市今橋町3番地の1
指定管理者	公益財団法人豊橋文化振興財団
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
担当課	文化・スポーツ部 文化課(0532-51-2873)
令和6年度指定管理料(決算)	16,200千円
令和7年度指定管理料(決算見込)	16,300千円

項目		基準	評価				
管理業務の実施状況に関する項目	維持管理業務の実施状況	仕様書等に基づき施設の適切な維持管理業務が行われているか。	仕様書に基づき適正に行われている。				
	自主事業等の実施状況	事業計画書等に基づいた施設の設置目的に沿った事業が実施されているか。	計画書に基づき、伝統文化こども教室をはじめとした自主事業や、立礼茶席での呈茶が実施されている。				
	人員配置等の業務体制	仕様書等で定めた人員配置がなされているか。また、労働環境が関係法令等を遵守した適正なものとなっているか。	事業計画書のとおり、適正に人員配置がされており、組織の指示、チェック体制も業務に適した体制が確保されている。また、労働環境は関係法令等が遵守され適正なものとなっている。				
	職員研修の実施状況	事業計画書等に従い職員研修が実施されているか。	OJTによる人材育成や接遇研修・個人情報保護に関する研修などが計画的に実施されている。				
	個人情報保護の措置状況	協定書の個人情報保護規定に基づき、個人情報が適正に管理されているか。	協定書等の個人情報保護規定、公益財団法人豊橋文化振興財団個人情報保護規定に基づき、個人情報が管理されており、職員に対する周知も徹底している。				
	環境への配慮状況	温室効果ガスの排出量の削減を含む環境への配慮が実施されているか。	使用していない部屋はこまめな消灯と空調の停止を行い、省エネルギーに努めている。				
	緊急時対応への取組状況	緊急時の連絡体制があり、かつ訓練等が実施されているか。	危機管理対応マニュアル、非常連絡網が整備され、防火訓練等も実施されていることから、十分な取組みがなされている。				
施設利用	施設利用の許可状況	利用者の公平な選考を確保しているか。	利用者の決定は、規則・要綱に則し適正に行われている。				
	施設利用状況	前年度と比較した利用者数等についてはどうなっているか。(利用状況を数値化して令和6・7年度を比較)		R5年度	R6年度	R7年度	比較(R7-R6)
			開館日数	347日	347日	347日	0日
			利用者数				
			a. 茶室・和室・立礼席	27,414人	31,637人	32,873人	1,236人
施設利用	サービス向上等への取組状況	施設PRやサービス向上の取組みは実施されているか。	計	27,414人	31,637人	32,873人	1,236人
			【要因分析】 令和7年度の利用者数は前年度比104%と増加しました。三の丸会館で開催した市民茶会が盛況であったことなどが要因と考えられます。一方で、抹茶価格の高騰による立礼席料金の改定の影響により立礼席の利用者は減少しました。				
施設利用	サービス向上等への取組状況	施設PRやサービス向上の取組みは実施されているか。	・立礼茶席呈茶、伝統文化こども教室、親子いけばな体験等を開催し、市民が伝統文化を気軽に楽しめる機会を提供した。				
			・広報用SNSを運用し、施設の紹介やイベントの告知等、三の丸会館の存在を広く発信した。				

様式1

状況に関する事項

利用者満足度調査結果	利用者への満足度調査(アンケート)等を実施し、業務改善を実施しているか。(指定管理者が自ら行ったアンケート結果に基づく)	本年度のアンケート結果の総合的満足度調査によると、「とても満足」37.7%、「まあ満足」28.3%、「普通」20.8%と、肯定的な評価が全体の86.8%を占めています。 個別分析では、施設設備・備品に関して「やや不満」5.7%と昨年度の11.4%から減少しており、テーブル・椅子などの導入効果によるものと考えています。引き続き、利用者ニーズの把握に努め施設環境の整備につとめ利用者満足度の向上に努めてまいります。			
意見箱等	意見箱等に寄せられた具体的な意見	内容		対応	
		いつも館内にきれいに花が生けてあるので楽しみにしている		—	
		立礼席のお客様から「インスタを見た」との声があった		今後も立礼席の抹茶及び生菓子に関する投稿を定期的に行い、集客を図る。	
		木により立礼席から豊川が見えない(2件)		危険樹木の伐採を優先的にしており、緊急性がないためすぐの対応は難しいと説明。	
苦情・トラブルへの対応	利用者の苦情等への対応は適切であったか。	適切・迅速に対応している。			

管理経費等の収支状況等

経費等の執行管理状況	資金の適正な管理と経理内容の明確化が実施されているか。	資金管理は確実に行われている。また、指定管理業務とその他の業務を区分し適正に経理されている。			
経費等の収支状況	収支計算書	収支状況が収支計画書と乖離していなかったか。		指定管理業務については概ね収支計画書通りの収支状況となっている。 自主事業については支出の方が大きくなっている。	
		収入の部		支出の部	
		指定管理料	16,300千円	指定管理事業費	22,304千円
		利用料金収入	939千円	自主事業	797千円
		自主事業収入	325千円		
		その他収入	4,479千円		
		収支差額		-1,058千円	

指定管理者の提案事業の実施状況	主な自主事業として以下の事業を実施した。 ○豊橋市民お月見会(俳句・短歌・川柳) 令和7年10月6日(月)～12日(日) 投稿数 短歌110首、川柳129句、俳句156句 ○伝統文化こども教室 夏休み 茶道の部(表千家) 令和7年8月1日(金)・8日(金)午前の部／午後の部 参加者数:延べ48名参加 茶道の部(裏千家) 令和7年7月28日(月)午前の部／午後の部 参加者数:延べ72名参加 華道の部 令和7年7月30日(水)・8月6日(水)午前の部／午後の部 参加者数:延べ78名参加 親子で浴衣を着てみよう 令和7年7月26日(土)午前の部／午後の部 参加者数:延べ7名参加 ○親子いけばな体験～親も子も、一緒にいけばなデビュー～ 令和7年9月13日(土)午前10時～正午 参加者数:17名 ○現代箏曲のしらべ 令和7年9月20日(土)午後2時～ 参加者数:50名 ○伝統文化こども教室 冬休み 華道の部 令和7年12月25日(日)午前の部／午後の部 参加者数:延べ37名参加 茶道の部(表千家) 令和8年1月18日(日)午前の部／午後の部 参加者数:延べ28名参加 茶道の部(裏千家) 令和8年2月11日(日)午前の部／午後の部 参加者数:延べ18名参加 ○お抹茶の愉しみ方講座 令和8年2月20日(金)・27日(金) 延べ24名参加
当年度の対応方針	SNSを活用した情報発信を実施し、三の丸会館の魅力を市民や観光客に幅広く伝えていこうと願う。また、老朽化が進んでいる設備については積極的に修繕を行い、利用者の意見を反映した快適な利用環境の整備に努めることを求める。
指定管理者の自己評価	三の丸会館は、本格的なお茶会の開催に加え、立礼席で気軽に抹茶と和菓子を楽しめる場としても広く親しまれています。令和6年度に利用者の要望を受けて導入したテーブル・椅子は安定した需要が続いており、高齢の方が多く利用される三の丸会館にとって欠かせない設備となっています。 和文化を軸とした多様な利用方法の拡充にも取り組み、和楽器演奏会の開催など利用の幅を広げる施策を進めた結果、リピーターによる自主的な演奏会開催にもつながっています。またInstagramを開設し、立礼席の様子や四季折々の情報を発信することで、特に若年層への認知向上を図っています。 施設環境の整備については、茶華道にふさわしい空間づくりを基本方針に、立礼席の腰紙張替修繕を実施しました。あわせて、施設利用者でもある茶華道の先生方のご協力のもと、子ども・親子向けの茶華道体験講座や大人向けの茶道講座を引き続き開催し、伝統文化の普及・振興と施設の活性化に努めました。
総合評価	立礼席料金改定の影響により立礼席の利用数は昨年度比で減少したが、貸室利用が増え、合計としては利用数は増加した。ホスピタリティのある接客や備品の整備など、利用者ニーズに応えてきた効果が表れている。 自主事業では、和楽器を使った演奏会を開催し多様な利用方法の拡充を図るなど、積極的な取り組みが評価できる。また、Instagramでの情報発信により、事業の認知向上を図っている。 立礼席は料金改定の影響を受け利用数が減少しているが、チラシをリニューアルするなど情報発信に係る努力が見られた。
次年度の対応方針	引き続き、SNSを活用した情報発信を実施し、これまで三の丸会館を利用したことがない層に対しても、施設の魅力を幅広く伝えていこうと願う。また、老朽化が進んでいる設備については積極的に修繕を行い、利用者の意見を反映した快適な利用環境の整備に努めることを求める。立礼席については、料金改定の影響により利用数が減少していることから、令和7年度のチラシリニューアルに引き続き、利用者確保に繋がる取組をしていただきたい。